

#### 【評価】

##### ア 各区保健福祉センターの体制整備

- ・受検者が減少している。
- ・初回受検率・満足度・プライバシー保護については、概ね良いと評価できる。

##### イ 委託検査体制の整備

- ・平成 24 年度の検査件数は前年より増加した。
- ・即日検査にした土曜日についても、平成 24 年度より増加している。

##### ウ キャンペーン検査・相談、イベント検査・相談等の実施

- ・淀川区と北区において実施した。

##### エ 広報等

- ・インターネットを用いた広報が有効である。

##### オ 相談

- ・相談件数は減少している。

#### 【今後の計画】

- ・保健福祉センターにおける検査件数の増加のための体制について協議していく。
- ・キャンペーン検査等の実施について検討する。
- ・インターネットを用いた広報を充実させる。

### (3) 保健・医療・福祉の連携強化

#### 【実績】

##### ア 地域での支援システムの構築

- ・平成 24 年度に福祉施設入所事例のカンファレンスを医療機関、施設、保健福祉センター、保健所メンバーで開催した。
- ・拠点病院と連携し、地域における療養支援ケースがあれば保健所に相談いただくシステムは構築できているが該当ケースが無かった。
- ・拠点病院からは市だけでなく、他の自治体も含めた在宅支援に向けた連携が必要であるとの意見があった。そのため、新たに保健福祉センター、府保健所、堺市保健所等の保健師を対象とした合同研修会を府・市の主催により開催し、福祉施設入所事例の報告を施設職員より行っていただくなど、地域移行支援の必要性について学ぶ機会を設けた。

##### イ 医療体制の整備【資料 17】

- ・「エイズを発症してから感染を知った患者への主治医からの聞き取り調査」の結果より、診断時の病名は 55.3%がニューモシス肺炎であり、58.3%に性感染症の既往があること、発病から診断までの期間は 1 か月以内が 41%であること、拠点病院以外でも、35.7%が他院からの紹介であった。
- ・「エイズを発症してから感染を知った患者への主治医からの聞き取り調査」結果より、拠点病院以外の 14 件について、H I V 検査結果を説明する際のカウンセラーの利用は 0 件であり、「たんぼぼ」の配付は 2 件であった。
- ・「エイズを発症してから感染を知った患者への主治医からの聞き取り調査」結果より、拠点病院以外でエイズ診療を行っているのは 1 医療機関で、拠点病院では 1 施設がエイズ診療を行っていなかった。
- ・HIV 陽性者の一般診療については拠点病院以外では約半数が行っていると回答していた。

【評価】

ア 地域での支援システムの構築

- ・新たなケースは無かったが施設入所、地域療養支援の構築に向けた基盤整備は行えた。

イ 医療体制の整備

- ・拠点病院以外の病院ではカウンセラー派遣制度や「たんぼぼ」が活用されていない。
- ・発見の遅れがある。
- ・HIV 陽性者の一般診療について、拡大していく必要がある。

【今後の計画】

- ・引き続き地域療養支援システム構築に向けて事例を蓄積していく。
- ・拠点病院以外の病院では一般診療の促進、カウンセラー派遣制度や「たんぼぼ」の活用促進、医療機関への情報提供に取り組む。
- ・早期発見のために、呼吸器診療科・性病診療科へ重点的に情報提供を行う。

(4) 人材育成及び関係団体との連携

【実績】

ア 人材育成

- ・平成 24 年度、25 年度は保健福祉センターの保健師研修では、医師にも参加を呼び掛け、CHARM・MASH 大阪の御協力を得ながら、模擬体験を実施した。
- ・平成 24 年度は個別施策層に対する保健師の理解を深め、効果的な普及啓発について学ぶことを目的として、青少年、MSM、CSW について、NPO 法人 HIV と人権情報センター、MASH 大阪、SWASH、CHARM の御協力を得て勉強会を開催した。
- ・厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業により実施された医師を対象とした研修会「見落とされやすい HIV 感染症～早期診断のために」を大阪府医師会・大阪府とともに共催した。
- ・障害児・者福祉施設連絡協議会、地域包括支援センター職員への研修会の開催
- ・養護教諭、養護職員を対象とした研修会の開催

イ 関係団体との連携

- ・平成 24 年度には中央区保健福祉センターにおいて区役所保健師とエイズ専門相談員との意見交換会を開催した。
- ・平成 24 年度にはエイズ専門相談の課題共有を図るため、検査実施区及び保健所職員で会議を開催した。
- ・淀川区や北区のイベント検査の実施にあたっては MASH 大阪の協力を得て周知に取り組んだ。

【評価】

- ・概ね計画どおり実施できたが、継続して実施する必要がある。

【今後の計画】

- ・大阪市職員、医療職、福祉職員、教員については、さらに対象者を拡大し、継続的に人材育成に取り組む。
- ・関係機関との連携を強化する。